



文通

アナタと文理科をつなぐ

れいめい文理科通信

合格体験記 20

挑戦し続ける

みこと、現役で難関、東京工業大学に合格した北川春樹さん。合格の秘訣や大学での新しい生活について聞いてみた。



東京工業大学 環境・社会理工学院

北川 春樹さん(れいめい中出身)

—大学の授業はどうですか？

高校とは全然違います。高校は授業を受けていれば良かったのですが、大学では自分から進んで勉強しないといけないんです。特に物理の先生はその業界ではかなり偉い先生みたいです。スライドで説明してくださるのですが、スライドの切り替わりのスピードが速いからメモが追いつかないんですよ。授業のアフストラクトを三枚にまとめないといけないんですけど、みんな自分で調べて、自分で理解してまとめているんです。

—それは大変ですね。大学の授業の難しさが伝わってきます。

物理や化学は高校の授業でやった内容を詳しく習う感じですね。数学は新しいことを習っているの、大変ですけど、楽しいです。

—なるほど。授業以外ではどんなことが楽しいですか？

サークルの新歓(新入生歓迎会)にたくさん参加しています。軟式野球、バドミントン、アメフト、準硬式野球などのサークルに参加しました。今は毎日がすごく楽しいと感じています。高校時代はとにかく忙しかったので、大学での生活が新鮮です。東工大では、水曜日が「運動しようデー」といって、午前で授業が終わります。そこで野球サークルに参加しようかなと考えています。

—サークルに入ると人間関係が広がりますよね。他に新しい出会いはありましたか？

東工大はユニット制といって、一年生のうちは14人グループで必修の授業を受けたり、課題に協力して取り組んだりするんですよ。今はそのユニットの同級生とよく一緒にいます。ほとんどが関東出身で、鹿児島県民は少ないですね。



▲大学で使用している教科書

—そうですか。れいめいの名をぜひ広めていただきたい。

—では、受験についてお聞きしたいと思います。やはり、合格の秘訣はなんですか？

合格の一番大きな理由は夏休みまでに、数学と物理の全範囲を完璧にしていたことだと思います。とにかく自分の強みは理系科目なので、まずはそこを完璧にしてから他の教科でできない内容に取り組もうと考えていました。実は、東工大の入学試験が終わった瞬間、合格を確信したんです。

—それはすごいですね！

—ありがとうございます。

—最後に今後の展望について教えてください。

今後したいことはやっぱりアルバイトです。自分の受験経験を活かして塾で働きたいと考えています。それから、飲食店にも興味があります。一度は経験してみたいです。それから、東工大は東京外国語大、東京医科歯科大、一橋大と四大学連合というものを組んでいて、他の三大大学の授業をとれるので、東京外国語大でフランス語の授業をとりたいですね。

—どこまでも東京での新生活を楽しんでいる北川さん。れいめいから羽ばたいた後も新たなチャレンジを続けているようで、なんとも頼もしい限りである。

